

共通科目Ⅲ訂正・改訂箇所一覧

【テキスト】

該当科目	ページ	列	ページ内該当箇所	訂正・改訂前	→	訂正・改訂後
公認スポーツ指導者制度の概要	4, 5		3 本会が加盟団体等と養成する…	フィットネス資格 メディカル・コンディショニング資格 マネジメント指導者資格	→	フィットネス系資格 メディカル・コンディショニング系資格 マネジメント資格
	6	左	1 公認スポーツ指導者制度共通科目カリキュラムについて	6) 集合講習会と通信講習(自宅学習)の配分	→	6) 集合講習会と通信講習(自宅学習)の配分の見直し、集合講習会時間数を削減する
第2章 アスリートの栄養・食事	36	左	1 目的別の食事 1) 筋力増強/からだ作りと食事 ※脚注	本文7行目の「2005年度版」 1 食事摂取基準2005年度版	→	2010年度版 1 食事摂取基準2010年度版
	37	右	2 時期、目的による区分と栄養・食事のポイント	本文8行目の「身近の管理栄養士に…」	→	身近の公認スポーツ栄養士や管理栄養士に…
	40		図3	※出典	→	※削除
第4章 身体のしくみと動き	71		図3	図中の「鋸状筋(M)」という名称	→	多羽状筋(M)
	74	右	①運動器のしくみと働き ⑥筋力とスピードとパワー ア 筋の構造と筋力	本文下から9行目、 「従って神経系から速筋線維の動員を……オ フシーズンに設定されることが望ましい。」	→	従って神経系から速筋線維(FG1+FG2)の動員を促すための筋力トレーニング方法は、90%最大筋力以上の高強度で低回数しかできない設定条件(高強度低回数:HLIR, High Intensity Low Repetition)が適している。一方筋肥大をねらいとしたトレーニングでは強度を低くして、筋肥大に必要な最小限の負荷基準とされ、かつ速筋線維からFG1線維までが動員される70%最大筋力程度で繰り返し回数を多くして全トレーニング量を増やす設定条件(低強度高回数:LHIR, Low Intensity High Repetition)が用いられる。HLIRは競技会の準備期や試合期に、LHIRはオフシーズンに適していることが期待される。
	78		表3 骨組織の変化に応じた年代別トレーニングの例 老年期 期待されるトレーニング効果	転倒予防 不動による筋・骨萎縮の予防	→	転倒予防 運動による筋・骨萎縮の予防
	84	右	図20	運動と感覚の神経回路の模式図	→	錐体路と錐体外路に差し替え ※別添PDF31を参照
	87	右	図4の左縦軸	Hb飽和度	→	Hb酸素飽和度
	第6章 競技者育成のための指導法	146		図1	図1 主要NDCのシドニー五輪メダル数と国内総生産との相関(JOCゴールドプラン,2001)	→
149		右	② 競技者育成システムにおける指導計画 2) 今は何を指導すべきか ① 発育・発達に応じたプログラムの作成	表1 テニスにおける一貫指導のアウトライン(JOCゴールドプラン ANNUAL REPORT2002) 本文10行目の『国際テニス連盟(ITF)』	→	表1 テニスにおける一貫指導システム・年齢別プログラム(3~20歳)に差し替え ※別添PDF33を参照 日本テニス協会(JTA)
152			表3	主要スポーツ先進国関連資料(JOCゴールドプラン,2001)	→	表3 主要スポーツ先進国関連資料
157			③ 競技力向上のためのチームマネジメント	【指導現場へのヒント】2箇所および下表改訂	→	※別添PDF34
158		左	■集団の凝集性の4行目	狩野 ¹⁵⁾	→	狩野 ¹³⁾
158		右	■集団の生産性の9行目	西側 ¹⁶⁾	→	西側 ¹⁴⁾
161			■強化のプロセスの把握の3行目	河野 ¹⁸⁾	→	河野 ¹⁰⁾
		左	同 4行目	図4	→	図3
		左	同 8行目	河野 ¹⁷⁾	→	河野 ¹⁵⁾
162		右	図タイトル番号	図4●…	→	図3●…
		左	1行目	図5	→	図4
164		左	上から9行目	図6	→	図5
	右	下図のタイトル番号	図6●…	→	図5●…	
164	右	■指導者の行動を自らマネジメントするために の9行目 同 下から7行目	高橋 ¹⁹⁾ 福ヶ迫 ²⁰⁾	→	高橋 ¹⁷⁾ 福ヶ迫 ¹⁴⁾	
165		引用・参考文献の順番変更		→	※別添PDF35	
第7章 スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅱ	199		2) 段階的に期分けしたりリハビリテーションプログラムの項および表6を改訂	→	※別添PDF36	
用語索引	215~225		④ドーピング防止の項を全面改稿	→	※別添PDF37	
	226~229		※改稿等にとりもなう更新	→	※別添PDF38	

【ワークブック】

該当科目	ページ	列	ページ内該当箇所	訂正・改訂前	→	訂正・改訂後
第2章 アスリートの栄養・食事	8		表の「素材・調理法・調味料の組み合わせ」	※表の出典表記	→	※削除
	9		Q9のページ表記	37~38	→	40~41
第4章 身体のしくみと動き	20		「筋線維の配列と種類の例」の図	鋸状筋(M)	→	多羽状筋(M)
	21		「骨格筋の名称と機能」の図	2.b.頸板状筋	→	2.b.頸板状筋
	21		「筋肉の名称と機能」の表	2のヨコマス中の2.b.頸板状筋、頸部	→	2.b.頸板状筋、頸部
第7章 スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅱ	72		5)表の中段	頸部の代表的な…	→	頸部の代表的な…
	80		3)のページ表記	224~225	→	223~225
	81		「ドーピング検査手順」の紹介 ※ドーピング検査手順の情報		→	※別添PDF39に差し替え ※削除